

榊原病院 Monthly

Vol.75
2025.April



院長

鬼塚 俊明 (おにつか としあき)

略歴

1991年 九州大学医学部卒、九州大学精神科神経科入局
2000年 米国ハーバード大学医学部精神科研究員
2004年 九州大学病院精神科神経科助教
2008年 九州大学病院精神科神経科講師
2015年 九州大学大学院医学研究院精神病態医学(精神科神経科)准教授
2021年 九州大学大学院医学研究院神経画像解析学教授



診療科

一般精神科
アルコール・薬物依存症
専門外来
こころのリスク外来

病床数 175床

精神科病棟 157床
医療観察法病棟 18床
強度行動障害ユニット

病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

The most important person in this hospital is the patient.

院内の災害訓練を実施しました

庶務係長 前田 洸介

令和7年3月10日の午後より、院内において災害訓練を実施しました。

今回は、三重県沖でマグニチュード8、津市内で震度6弱の地震が発生した想定での訓練となり、地震発生後の本部設営及び各部署における被害状況の点検・報告を行い、災害が発生した際の基本的なマニュアルの運用について確認を行いました。

平時の業務とは異なる動きであることから順次マニュアルを確認しながらの活動となり、スピード感が十分であったとは言えないかもしれませんが、参加したスタッフとしては平日頃から災害を意識することの重要性について再認識をする機会となりました。

当院は、令和6年2月より三重県の災害拠点精神科病院として指定を受けており、被災地への災害派遣精神科医療チーム「DPAT」の派遣や災害時の患者さまの受入・搬出など、災害時における精神科医療の中心的役割を担うものとされております。

そのため、当院には、実際の災害発生時において、スタッフが災害対応に関する十分な経験を蓄えた上で、スムーズに活躍することが求められることから、いかに平時に訓練をできるかが重要となってきます。

今回は基本的な情報伝達訓練を中心としたものでしたが、今後は訓練内容をより実践的なものにするなど、災害拠点病院としての質的向上に努め、地域医療の支えとなれるようにスタッフ一同精進して参ります。



【公共交通機関（電車・バス）】

久居駅下車 三交バス（車庫前行）（約30分）

【車】

久居インターより（約20分）

【無料送迎マイクロバス】

当院～久居駅間を往復（約20分）
※運行表は以下をご参考ください。



マイクロバス運行予定表（※土日祝日を除きます。）

	①	②	③	④
		火器器木		木器器木
病院 発	8:40	10:40	12:10	15:30
久居駅 発	9:00	11:00	12:30	15:50
病院 着	9:20	11:20	12:50	16:10



また、余談的なものになりますが、最近当院では、ANPIC（アンピック）という職員向けの安否確認システムを導入しました。

これは、地震発生時に病院外にいる職員が自身の被災状況についてスマートフォンなどから病院へ速やかに連絡を行うことができるアプリケーションで、災害対応開始時に必須となる人員配置を速やかに進められるようになることが期待されています。

簡単なものではありませんが、こういったものでも、職員への災害に関する意識づけに役立つ方法の一つではないかと考えております。



地域医療連携室だより

〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

ゆうはあと訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開業しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和7年3月までに**全症例は171例**となりました。新規導入は3月は2例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。

認知症医療、こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。

したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、法人内病院である三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。

デイ・ケア案内

4月を迎え、デイケアにも変化がありました。スタッフの異動で、ディズニー好きの看護師が1名着任しました。担当するプログラムはこれからですが、どうぞ皆さま新スタッフとも、旧スタッフとも、おしゃべりしに来てください。

病院の中も外も桜が満開で、4月はさんぽを楽しむ時間が増えました。春の日差しのもと、のどかな榊原地区を歩く時間は心地が良いです。デイケアメンバーから人気がある喫茶、調理、スポーツ、麻雀など、変わらず続けています。今月はスイーツ作りの予定が多く、病院内で収穫したはっさくを使ったマフィンなどを、楽しく作る予定です。

病院のホームページや、外来に月間プログラム表がありますので、どうぞご覧ください。



メンバーが共同制作した
カレンダーです。
デイケア室も満開です。



こちらはメンバーが作った
昼食、三食どんぶりです。

ホームページに「デイケアでの感染予防プログラムの学びと実践の取り組みについて」を掲載しています。



デイケア案内、プログラム表については、こちらをご覧ください。



栄養コラム

春に起こる体調不良を予防しよう！

桜が咲いて春の訪れを感じられる季節になりましたね。
この時期は1年のうちでも寒暖差が大きいため、体が温度の変化に対応しようとして交感神経を活発に働かせます。すると自律神経が乱れて、体のだるさや疲労感、胃腸の不良を起こしたり、集中力や意欲の低下、睡眠の質が低下したりします。

また、この時期は花粉や黄砂などによるアレルギー反応にも注意が必要です。
春先に起こる体調不良の予防として、まずは規則正しい生活を心がけること、体をつくるたんぱく質（肉、魚、卵、豆腐など）とともに、免疫力を高めるビタミンC（いちご、キウイ、新じゃがいもなど）や疲労回復のビタミンB1（豚肉など）などを意識して摂取できるとよいですね。

